

令和4年3月29日 定例記者会見（その他）質疑

【市長】

記者会見を市で行い、その後いろいろと報道があり、市にもいろいろなご意見も寄せられ、また市長に取材したいという申し出もありましたので、定例記者会見のその他としてお受けすることとしました。現在お話しできる範囲で、ご質問をいただいておりますのでお答えする形で進めさせていただきます。

（質問）

先日の会見で市は、虐待の認識はなかったと、それに対して保育園の方では、市に虐待の懸念はあると伝えていた、心の虐待の懸念はあるかもしれないということを伝えていた、という話もあります。改めて市としての認識はどうであったでしょうか。

（回答）

市が虐待がなかったというような形で報道されてしまいましたけれども、園に通っているお子さんとお母さんの様子、これを拝見する中で、身体的な虐待をそのお子さんが受けていたというような兆候が見受けられなかったということは申し上げましたが、これをもってして、園以外のところで何らかの形で虐待等が行われているかもしれない、あるいは9月の飲食店からの通報による、正座をさせられていた、ということまで含めて、虐待がなかったと言ってるわけではないと、この点をはっきりと申し上げておきたいと思っております。

（質問）

園の中での出来事は報告を受けていたわけですが、虐待の懸念があるかもしれないってことは園から伝えられたと思うんですけど、それでも、その判断だったのでしょうか。

（回答）

身体的な虐待の連絡、一時保護に繋がるような身体的虐待を受けているという報告は、いただいております。

（質問）

飲食店で数時間にわたって正座させられていたことについて、一般的にはそれは虐待的行為だと思うんですが、市としてどういう認識だったのでしょうか。

（回答）

飲食店からの通報があったので、市は保育園に情報提供していただいて、お母さんが園に来たときに面会をしております。

園から話があったからこそ、お母さんに会っています。児童相談所には、対応方針については照会しており、園から話をしていただいております。

児相は、正座をさせられていた状況からいって、ネグレクトであろうと判断して、市では

児相の対応方針に沿って、母親に対して、事情をよく聞いた上で、そういうことをしてはいけないということをしっかり指導して、園で観察をしていただくとなりました

(質問)

保育園、飲食店の方には異変があれば警察に通報してほしいと市から伝えてると思うんですけども、市から警察に相談するというような動きがなかったのでしょうか、どうしてそういうふうに必要なと判断したのでしょうか。

(回答)

それは9月の段階の話ですね。

9月の段階では、市から警察に相談はしていません。児相に相談し、児相の対応方針に沿った形で、市で対応しました。警察には1月になってからお子さんがいない、和泉市に行っているという話だったんですけども、その住所を確認して、そこにいなかったということで警察に通報しております。

(質問)

その前に警察にということはないでしたね。

(回答)

母親が1月20日に退園届を持ってきて、母親とはやり取りはあるんですけども、2月8日には連絡もとって、大阪の方で元気になっているとのことでしたが、2月18日に市で、和泉市役所に照会をかけて、その回答があったのは、3月2日だった。それで、いないということだったので、市から警察に届け出を行ったということです。

(質問)

そうなる飲食店の話しがあった時点では、児相の判断を受けて市でも必要ないとしたのですか。

(回答)

そうです。

(質問)

児童が1、2時間正座をさせられていて男性から叱責されているという通報をもとにして動かれたという話がありましたけれども、まず我々は心理的虐待だと認識をしている訳ですけども、心理的虐待の通報があつて、園から身体的虐待がないという回答があつて、それに対応をやめたということですか。

(回答)

やめてはいないんです。

この子には、個人情報のお話になるので、詳しくは申し上げられませんけれども、発達に課

題があるという中で、市として対応してきたという状況がございます。それだけでなく、9月の正座をさせられていた話があって、その次の日には母親に会って、その内容を児相に報告し、児相からは対応方針に変更なしということでしたので、園への見守りをお願いしている。

その前にお子さんの5歳児健診の結果をもって、園の方が市の個別相談を受けた方がいいのではないかというアプローチをしているが、なかなかお母さんが聞き入れてくれないという話もいただいています。

(質問)

ホームページ上に公開された議事録などで、保健部長から、児相では母親のネグレクトとして判断をしておりますと回答がありました。

男性が叱責をしているっていう通報があって、第三者からの心理的虐待ではなくて、母親のネグレクトとして処理しましたが、それは問題はなかったのでしょうか。

(回答)

児相に状況報告して、その中で、それはネグレクトですということだったのです。後から聞けば、それは何だろうな、と思いますけれども、ルールに則って、やはり対応方針というのはあるわけです。

(質問)

これは何だったんだろうな、という思いというのは、市長は今、どういった思いを持たれているのか。

(回答)

私自身がやっぱり感じるのは、その飲食店の店主と話もしたんですけども、難しいのは、母親に市の職員が、どうしてこういうことをしたのかっていう話をしたときに、いわゆるしつけの一環だと、私ではなかなか言うこと聞かないので代わりに叱ってもらっていると言ったそうです。

なかなか難しいなと思うが、しつけの一環での叱責というのは、ある話ではあると思います。ただ、2時間近くも正座っていうのはやっぱりおかしいだろうな、その辺の何ていうか、異様性というか、それは感じます。

(質問)

当時は児相とのやりとりの中では異様性というのは認識できなかったでしょうか。

(回答)

児相の判断で、保育園に対して見守りをしていただきたいということになりました。

それと発達に関することもあるから、そのときも、その後もそうだったと思うんですけども保育園の先生方も、あるいは市の子育て支援課の職員も、この子の発達に関することで携

わってきた職員も、母親が、何て言うか、自立というところちょっとおかしいですけど、その母親がSOSを出してきてくれて、シェルターなりそういったところを求めてきてくれていればなあという思いがすごくあります。

(質問)

母親のSOSがないと動けないというのは、事実としてあったのか。

(回答)

母のSOSっていうのが見えないからこういうことが起きてしまうんじゃないか、母親にSOSを出してもらいたいってのは本当に思いとしてあります。当然ですけど、まずは母親からSOSを出してほしいと思うけれども、SOSを出せない状況になってしまってる。そんなときに果たして我々は一体どこまで何ができるのか。そこに非常に限界というか、感じる場所です。

(質問)

園に直接取材をさせていただいた中で、市長の会見の後に、事実と異なる部分について抗議したというふうなことをおっしゃってましたが、実際に会見後に、園とのやりとりがあったのかどうか。それから、ここで抗議を受けたのかどうか。

(回答)

園とのやり取りはありました。その中で話は、先ほどの質問の中に確かあったと思うんですけども、市は虐待の認識がなかったという報道を見て、園の皆さんがたはそんなことはないよねと、おかしいよね、飲食店もそうだし、なんで市はそういうこと言うんだらうなあ、というふうに思ったそうなんです。

その後に園から連絡があって、話をする中で、市は、園で見る限り身体的虐待の様子はなかった、ということを行ったところが、市は虐待の兆候なしと判断したみたいな形の報道となっており、それを見て怒った、ということを確認をさせていただきました。

(質問)

ホームページにこの経緯を公表したと思うんですが、これを見てまず通報が9月6日にある、7日に面会、その際に園に聞き取りを行って、9日に見守りの継続を依頼したというふうになってます。

この記録では、その次のやりとりは2ヶ月後の10月29日になってますが、我々が園に直接取材をする中で、この2ヶ月間繰り返し動いてください、対応してくださいと求めた、とお話をお伺いしています。この9月9日から10月29日までの間、記録には明らかになってないですが、園からの要請を含めてあったのではないですか。

(回答)

まず結論から申し上げますと、園が何度も市に話しをして、園の記録と市の記録に齟齬が

あって市が対応してないということはないです。園と市のやりとりというのは、回数においてはお互い認識は一致しています。

市から保育園に対しては、9月6日に市が電話をしてお母さんと面談したいので退園時間に合わせた協力依頼をしております。

7日に今度は保育園から市に着電がありまして、保育園に登園したので面談が可能ですよあって、市は保育園に行き母親と面談をいたしました。

その次に、8日にはですね、市として熊谷児相にその状況を報告してるんです。そこで今後の対応を共有したわけですけども、児相からは対応方針の変更の指示はなく、引き続き見守りということでした。

9日は保育園に見守りの継続を依頼しまして状況の変化に応じて、適宜報告を依頼しております。

保育園からは面談後の母の様子には特に変わりはない。それで、5歳児健診の結果を保育園から渡して発達支援センターの利用を勧めたが、反応がないということでございまして、9月16日に市から母親に電話をかけてます。母親から、折り返し電話があつて、そこでのやりとりというのが、母親が、同居人が住所を教えることを了承しないから現住所も教えられないと言ったとか、市としては、住所と生活実態が異なるから市として対応する必要があるので今後とも連絡することを伝え母は了解しています。母は、市が保育園には来て欲しくない、保育園の目があるのでやめてほしい、と。それに対して市としては、母と連絡ができれば保育園に行くことはない、と伝えたということです。保育園に確認したところ、市から保育園に18日にその状況について報告してます。これは保育園側の資料でわかりました。18日に市が保育園に架電してます。16日の状況についてお伝えしています。

その後は確におっしゃるとおり、10月29日まで、保育園と市とのやりとりはございません。

ただ10月29日のところでどんなやりとりがあつたかという、これはお子さんの発達に関する事で、ここでかなり園としても心配をされている。保育園としては、母親に市の個別面談を受けるようにすすめているんですね。なかなか母が応じてくれない。

実は市の方も母親に、これ実はその個人情報に関わることだったので、発達相談に関する記録というのは実は公にしておりませんが、私自身が、自分で調べさせてもらいました。調べた上で、個人情報に関わることはこういう場では伏せますけども、母親に対して園が個別相談をするようにということを伝えている。それと、市に対して、保育園から母親に対して個別相談を勧めてもなかなか受けつけてくれないので、やはり市の専門的な心理療法士であるとか心理士であるとか、療法士であるとか、そういう専門的な見知の人から、母親に相談を受けてほしいと、受けた方がいいですよってことをすすめてくださいというお願いはされてるんです。

実は保育園側とお話をした中で、何度も市にお願いをしたっていうその内容は何だったのかなと私も思いました。いろいろお話を聞いたんですけども、何度も電話をかけてるけど

出なかったとかそういうことではなくて、発達に関する相談において、保育士から、なかなか話しても受け入れてもらえないので、市の方から話してくれませんか、というような願いは、都度していると、おそらくそういったことも含め保育園の先生方がおっしゃったのではないかなと思います、それは副園長先生とは認識が一致しています。

(質問)

取材のメモで残ってることなんですが、保育園の権限では家庭訪問などできない、市から見守りをお願いされたが、帰宅後は見守りはできない。なので、市に動いてほしい、行政の権限で動いてほしい、ということを訴えた、というふうに言っているんですが、そういった事実はないですか。

(回答)

それはどういう意味でおっしゃったかわかりませんが、何とかこのお子さんと母親が今いる環境から抜け出て生活ができるようにできないんですかね、という相談を市に寄せられていることは事実です。それは市もそういう相談を受けてます。

市も、それはそうしたいです。ですけど、実際に子育て支援課で母親と電話をして、その話をしていた職員に直接聞いた話ですけども、この母親は自身が居場所を知られたくない。それとあまり関わりたいくない様子も見られる。そういう中でこの母親と何とか信頼関係をつくって、その母親の様子を聞き出して相談にのってという思いでいろいろ電話をして、電話に出てくれなくても向こうから折り返し電話をしてきてくれる状況であったらしいんです。

そういう中で母親との信頼関係をつくっていきながら徐々に徐々にその母親の気持ちが動いてもらうように仕向けたかたつていう気持ちがあったのですが、とにかく母親は自分の居場所は言わない。それから同居人に迷惑かかるからと言って、教えてもらえない、個別面談についても拒否をする。そういう状況なので、それ以上の踏み込みが出来なかったということが実情でしょう。

(質問)

いまの環境から抜け出したいというのは、住所を教えてくれない、誰と生活してるのかもわからない、という不安の中で、飲食店から通報があったので、男性が叱責をしているので、同居しているのは男性なので、そこで園はいろいろな情報を集めて容疑者の名前も、それから飲食店とのやりとりを通して車のナンバーまで集めて市にお伝えをしたっていうふうに我々聞いているんですけども、その認識が間違ってるということでしょうか。

(回答)

市がそこで踏み込めるという状況ではないということは園でもわかっています。それは副園長先生とも話をしたんですけど、園もそれを求めたんじゃなくて母親を説得して、何とかその環境から抜け出るようにはできないんでしょうかね、という相談は市にされていま

す。

(質問)

その際に、容疑者の名前や車の情報や、その虐待を疑われた男性の情報というのは園から提供がありましたか。

(回答)

提供があったと思います。

(質問)

だとすると、母子関係ではなくて、通報にあったように、男性からの虐待が疑われる、園もそれが心配だということでお伝えをしたというふうに認識するのか。

(回答)

園は、そこで引き離して欲しい云々ってことは、市としても難しいっていうとはわかってるし、母親にアプローチをかけて母親から、例えばお子さんの発達に関する相談、そういったところにちゃんと出向いて行って、そこでその相談を受けてもらうとか、何らかの形で市がかかわってくれたらな、という思いは、それはもちろんあったと思います。

(質問)

ただその思いを伝えることはなかったと？

(回答)

一時保護に繋がるような要請はなかったということです。

(質問)

一時保護に繋がるかどうかというのは、行政のその仕組みの問題だと思うんですけども、実際に児童を守りたいという園の気持ちで、行政にどうか動いてくださいというお願いが繰り返しあったかどうかという部分とは関係ないのかなって思いますが。

(回答)

行政に動いてくださいというのが、今、住んでいるであろう場所はここなんです、だからここに踏み込んで何とかしてください、ということではなかった。

そういうことではなくて、母親の気持ちが変わって、自分たちで自立をしてもらうようになんとか促せないか、という思い、それは保育園も思ってたし、行政としてもそういうふうに思っていました。

現実、特に身体的な虐待の兆候等がない中で、あるお宅に、お宅はどうなんですかって、任意で入ることは警察だって難しい。これは例えば、まだ認否も明らかにしないわけですから軽々には言えませんけども、繰り返し虐待の兆候に繋がるようなことがあるのであれば、一時保護の要請があつて、そうしたらその時点で児相が入って動いてということはありません。

たかもしれない。ただ、お子さんが亡くなってますから。何とかならなかったのかなって思ういは今になって思うわけです。私だって思う。

ただ、園とも話をした中で、最終登園が1月12日ですけど、特にそれまでの年末年始など変わった様子はなかったというお話もいただいております。そうなってくると、確かに9月にそういうことはありました。ただその後に10月、11月、12月、1月という中で、果たして踏み込めたか、現実はやっぱり踏み込めなかったということ。

私自身は残念でならないですよ。1月の時点で亡くなったのが、推定では1月18日です。何とかならなかったのかなと思います。

(質問)

先ほど、警察の方に回すとか、情報共有というお話をされてたと思うんですけども、警察に情報提供して、例えば要対協にあげたりすれば、もっと踏み込めたのかなという思ってしまってますけど、そのあたりどう考えますか。

(回答)

なかなか難しい問題だなんて思うのは、私としては、飲食店の店主と話したんです、私に言ってくればよかったねって。私に言ってくれば、そうすれば兎相にでもなんにでも行って、何とかならないのか、って言ったかもしれませぬ。今になってみれば、ですけど、思いとしてはそうです。

だけど、ここはやはりルールに基づいた対応を職員はしました。

(質問)

飲食店の状況を見ると、その時点で警察に通報するというのも、そのことを店主にお願いすることもできたのかなと思うのですが、その情報共有ということをどうお考えですか。

(回答)

飲食店には何かあったら警察に通報してくださいとは話しているんです。その後来なくなった。だから、店主も心配してた、と言っていました。

(質問)

自分的には、その状況自体が何かあったという認識でいます。正座させられていたっていうことは、もう見るからに虐待じゃないですか。

(回答)

来店は3回あって(\*)、最初はその調理をしてるときだったので、何か叱られてるな程度、2回目に何かちょっと様子がおかしい、これは飲食店の証言から外れてたら申し訳ないんですけど、3回目にやっぱり明らかにおかしいということで声をかけたということだったんです。

だから、それはどうなったか、今私がここで話しをする話しではないと思うんです。



(\*) 記者会見では「通報は3回」と説明しましたが、「来店は3回」の誤りでしたので訂正いたしました。

(質問)

その時点での市の判断として、要対協に上げようとか、警察を巻き込もうということを現実的にされなかったっていうところの考えは。

(回答)

一つ言えるのは、現場でやってる職員に話を聞いた中で、実は虐待なんではないかという事案というのは、あまたいろんなケースがある。体や顔にあざをつくって登園してきてる子なんかの様子を見守っているような状況もある。これは本庄市だけのございけません。日本全国、それがどういう背景で行われているかっていうのはなかなかわかりません。

(質問)

その時点では正しくということは、児相の対応方針で対応しているっていうのが問題はなかったということでしょうか。

(回答)

マニュアルというか、対応方針に則った上で、児相に報告をし、児相からの対応方針が出てそれに則った対応をした。ただ、そこから時間が経ってるので、私はその間に何かあるんだとしたら、もっと早く見つけられたのかな、という思いもあるんです。後から見ると。

これからまた警察の捜査によって、お子さんがどのような状況に置かれてたのかっていうことが出てくる中で、どうなのかな。正しかったっていうことが、お子さんが亡くなって以上、胸を張って言える話じゃない。

(質問)

今後もちろん検証が必要だなとか考えますか。

(回答)

はい。

(質問)

住所はある程度わかってる中で、直接母親にアプローチできないにしても、例えばその家のそこら辺に住んでるってわかったらその家の近くで待ってみるとか、そういったような声なき声、SOSの声なき声を見つけるっていう点でも、考えてみればそういった手法もあったんじゃないかなというふうにならば、そういう話もあると思うんですけど、そういった点についてのお考えは。

(回答)

今となればそういう話も出せると思います。ただ、確定してるわけではなかったというこ

とも事実です。

これは現場の職員に聞きましたけれども、名前も聞いていて、この辺りのあそこなんではないか、ということで、そこに実際に行って確認してる、ということではない。

職員が、周辺も洗って云々っていうところまで対応できたかという、現実の仕事の内容、毎日、虐待かもしれないという事案に追われている中で、この件だけ、周りに張って、近所から話を聞いて回るっていうところまでは難しかったのではないかなと思います。

職員がその職責だからといって、職員のせいにする気は全くありません。気づいた人間が、なんとかできなかつたか。私の家からも近いので、なんで自分が気づけなかつたか悔しい。それは近所の人たちもみんな思ってるんです。

(質問)

どうかこの環境から抜け出せないか、という相談に関して、9月から10月末までの2ヶ月間繰り返された、これは事実としてあるのですか。

(回答)

9月、10月に発達に関しての相談のときに、お母さんに対して、個別相談を受けてくださいって言っていると、なかなかそれが難しい。そこで、園の方から市に対して、市から促してくださいと言っている事実はあります。

(質問)

それ以外に、園から市への相談はどんな内容であれ、その2ヶ月間繰り返されたという事実はないということでしょうか。

(回答)

特になかったんですけど、私の方で調べていって、保育園にどういう記憶があるか、18日以降、10月29日までの間、市に出しましたという記録は、特に保育園にはない。連絡を取りましたっていう記録はないし、市にもない。

(質問)

今後そういった事実関係も含めて、改めて洗い直して何がその時行われていたのか検証される気持ちはありますか？

(回答)

私は、それはやっていかなければならないと思っています。

ただ、さっき申し上げたように、保育園が市に何度も相談したって言っている内容は、まさにお子さんの発達に関して、お母さんがそのことをちゃんと認識をして、個別相談をしてもらうように仕向けて欲しいということですね。

それとお母さんが自立できるためにはどうすればいいだろうか、っていう思い。これはずっと保育園としては思ってたと思います。

(回答 保育園)

園としては虐待という言葉は、最後の最後に使う言葉で、まして母子関係が極普通の関係であったために、私たちが心配してたのは母子関係ではなくて、住所の特定ができない場所に居住しているという生活環境の部分で心配しているということは報道社の方にもお話ししたと思います。その部分で市が何か、お母さん自身が自分で気持ちを変えて自立に向けて動けるようなアプローチを専門的な立場から、お子さんの発達の心配、お母さんの住所の心配、そういうことを専門的な立場としてお話ししてください、そこは心配ですからお願いしますってということは、市の方にお願ひしました。

ただ虐待という言葉になると、親子を引き離すという危険性がありますので保育士は虐待という言葉は最後の最後まで使いません。ですから、その不安の部分があるということは伝えましたが、虐待がありますとは伝えていません。

(質問)

今後の検証について、検証委員会を開かれる予定はありますか。

(回答)

検証は必要だと思っています。どのような形になるかわからないが、今後、考えたいと思っています。